PRESS RELEASE

独立行政法人国際協力機構
中国国際センター（JICA 中国）

2017 年 2 月 10 日

山口県の中小企業、バリ州の生活排水問題へ挑む

～(株)アースクリエイティブ・山口大学連携案件～

国際協力機構（JICA）は 1 月 26 日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社アースクリエイティブ（山口県宇部市、栗原和実代表取締役）が提案する「インドネシア国バリ州における浄化槽の包括的な維持管理体制の構築による水環境改善案件化調査」を採択しました。

世界有数の観光地であるバリ州では、都市部における下水道ネットワークが整備されているものの、ネットワークでカバーしきれない生活排水が河川に流入し、環境問題を起こしています。地方自治体の管理当局の人材不足や、現地業者の浄化槽維持管理が適切でないことなど大きな課題があります。

同社は、長年の浄化槽管理サービス業で蓄積した知見をもとに、バリ州内で浄化槽の機能に応じた維持管理作業の実施サービスや現地の状況に合わせた簡易型浄化槽の開発販売を通じて、排水時の水質を基準内に安定させると同時に行政の排水監督機能の強化を目指した ODA 案件化（同社の場合は JICA 普及・実証事業）を図ります。

C/P 機関のバドウン県環境局との事前打合せ

現地浄化槽事前調査

本調査では、同社と山口大学、同大と学術交流するバリ州ウダヤナ国立大学の 3 者が協働して、ターゲットとするバリ州内の 40 万世帯と、商業施設 2500 施設の排水質の向上を目指すビジネスの可能性を調査します。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されており、2016 年度第 2 回分は昨年 9 月に公示を行い、36 件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）案件化調査 2016 年度第 2 回公示の採択結果について
URL:https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001r9vne-att/investigation_160905_result.pdf

【本件に関する問い合わせ・申込み先】
JICA 中国　総務課　　担当：西山（案件担当）
TEL：080-5754-8534
E-mail：Nishiyama.Kineo@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ
元気をつなぐ JICA 中国
JICA 中国ウェブサイト